

2019 年を振り返る ～平成から令和へ～

平成から令和へと、新しい時代を迎えた 2019 年。広報に掲載された話題を中心に、1 年を振り返ります。

- 1月13日(写真①)
成人式。380人の新成人誕生
- 3月7日(写真②)
市青少年文化・スポーツ表彰(小・中学生17人を表彰)
- 4月1日
新副市長に宮寄敬介氏、新教育長に待鳥博人氏が就任
- 4月1日
みやま子育てサポートセンター(愛称:みこサポ)開設
- 4月15日(写真③)
お笑いコンビ「サンシャイン」が市ふるさと観光大使に就任



- 5月1日(写真④)
天皇陛下御即位。元号が平成から令和へ
- 6月
今後10年間の指針となる「第2次みやま市総合計画」を策定
- 6月2日(写真⑤)
福岡県総合防災訓練がみやま市で実施
- 7月1日(写真⑥)
旧山川南部小学校にルフランカフェ、シェアオフィス、食品加工室がオープン
- 7月7日
みやま市議会議員一般選挙

- 7月26日
故 西原親氏に名誉市民章を贈呈
- 9月2日～30日(写真⑦)
トンガ王国出身の水泳選手、アミニ・フォヌアさんとノエラニ・デイさんがオリンピック強化選手としてみやま市で事前キャンプ
- 10月20日(写真⑧)
与田準一記念館10周年記念事業を実施
- 11月6日～11日(写真⑨)
高校生海外派遣交流事業により、市内の高校生4人がエネルギーの取り組みで協定関係にあるドイツ連邦共和国ライン＝フンスリュック郡などを訪問



- 11月8日(写真⑩、⑪)
市と九州朝日放送株式会社(KBC)が「防災パートナーシップに関する協定」締結。市社会福祉協議会と山門青年会議所も「災害時相互協力協定」を結び、地域防災力の強化へ
- 11月14日(写真⑫)
柳川市・みやま市暴力団等排除対策協議会が発足
- 11月30日(写真⑬)
みやま市の「地域資源を活かした資源循環のまちづくり」の取り組みが、環境省のプロジェクト「第7回グッドライフアワード」で環境大臣賞優秀賞を受賞

平成30年度の主な事業



事業名	概要	決算額
総合市民センター(仮称)建設費	総合市民センター(仮称)に係る基本設計、実施設計等を実施しました。また、事業地における既存施設の解体工事を行いました。	3億1,215万円
有明生活環境施設組合負担金	新ごみ処理施設および新火葬施設整備のため、有明生活環境施設組合に負担金を支出しました。	2億6,769万円
子ども医療費支給事業	乳幼児から中学校3年生までの医療費の一部を支給し、子育て世代の経済的負担を軽減しました。	1億1,859万円
高齢者運転免許証 自主返納助成事業	高齢者の運転免許証の自主返納を支援するため、タクシー利用券を交付し、高齢者の交通事故の抑止を図りました。	828万円
九州オルレみやま・清水山コース 関連事業	九州オルレみやま・清水山コースでの各種イベント開催やガイドの育成を実施し、市内外の観光客誘客や市のPRを行いました。	370万円
下楠田団地建設事業	市営住宅の長寿命化計画に基づき、下楠田団地の建て替え工事を行いました。	3億5,683万円

特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業特別会計	56億2,987万円	54億9,235万円	1億3,752万円
後期高齢者医療特別会計	6億3,725万円	6億3,509万円	216万円
介護保険事業特別会計	51億4,309万円	49億948万円	2億3,361万円
公共下水道事業特別会計	4億2,302万円	4億697万円	1,605万円
農業集落排水事業特別会計	5,165万円	4,872万円	293万円
生活排水処理事業特別会計	4億5,487万円	4億4,791万円	696万円
用地特別会計	9万円	0万円	9万円

水道事業決算

収益的収入	5億6,266万円
収益的支出	4億8,859万円
資本的収入	1億1,754万円
資本的支出	3億3,650万円